

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年9月29日(日) 午後2時～3時30分
場 所 滝自治会集会所（滝自治会）
参加者 27人



主な意見等

参加者 上福岡駅の近くの踏切は、交通量が多い上に道幅が狭く、事故が起きる可能性があると思います。東武鉄道の協力がないと難しいとは思いますが、高齢者や車椅子の方が安全で簡単に駅の反対側に行くルートを作っていただきたいです。

市 長 以前より歩道は拡幅されましたが、未だ課題は残されており、解決していかなければならないと思っています。オーバースタックやアンダーパスの道路を整備することは財政面からいっても難しいので、東武鉄道の協力のもと、歩行者や自転車のみが通行できる地下通路についても、今後の検討課題の一つとしていきたいと思っています。

参加者 ふじみんぴんしゃん体操の参加者は女性ばかりです。男性が参加しないのは、足腰を使う体操が少ないことが原因ではないかと感じています。足腰を使う体操を増やすのはいかがでしょうか。

市 長 ご指摘のとおり、参加者は女性が多いというのが現状です。男性が参加したくなるという工夫も必要だと感じましたので、担当にも話し

てみたいと思います。

参加者 災害発生時に、市の全ての建物を避難所として使えるような体制を整備していただきたいです。

市長 災害が発生した直後の一次避難所としては、学校が指定避難所となっています。ただし、災害が起きたらすぐに避難所に行くということではなく、自宅が壊れて住み続けることが困難な方だけが避難所に行ってくださいことになります。また、仮設住宅ができるまでの間は、公務員住宅やURの空き部屋を使わせてもらいたいと考えています。

参加者 滝の交差点から中丸に向かっての道路は、車の交通量が多いので、交通事故を心配しています。周辺道路には埋め込み式のライトがあるのですが、ずっと点灯していない状況です。また、一時停止の路面標示も消えかかっている、大変危険だと思います。安全のため、横断歩道も設置していただきたいので、市から警察へ呼び掛けてほしいです。

市長 まず、路面標示が消えかかっている件についてですが、市内全体で順次補修を進めているところです。埋め込み式のライトについては、ライトがもう製造されていないため修繕ができず、撤去するにも費用がかかるなどの理由で、そのままになっているのではないかと思います。今後、修繕が可能かも含めて検討してみたいと思います。横断歩道についてですが、市が設置するものではなく、県の公安委員会が設置をしています。既存の横断歩道等からの距離など、設置に係る条件が厳しいようですが、まずは横断歩道を設置したい場所を教えてください。

参加者 道路の防犯灯が切れている場合は、どこに連絡すればいいのでしょうか。

市長 市道であれば市が、私道であれば自治組織が対応することになりますが、まずは市にご連絡をいただければ、どこが対応するのかお答えできると思います。

参加者 DXの推進についてですが、ふじみ野市としては今後どのように進めていくのでしょうか。

市長 市役所の業務については、DXをどんどん進め、業務の効率化を進めています。しかし、すべてをデジタルにすることがいいとは考えていません。デジタルが不得手な方もおりますので、消費活性化クーポンのような全市民を対象としたものについては、デジタルではなく紙で対応しています。

自治組織のDX推進については、自治組織によって温度差はあるかもしれませんが、市としては、自治組織が望む方向に協力していきたいと考えています。

参加者 「敬老」という言葉を使うのをやめて、「熟年旅クラブ」という名称を使ってはいかがでしょうか。素晴らしい知識や能力をお持ちの方が多いため、人生の再スタートということからも名称を変えると活性化するのではないのでしょうか。

市長 良いお考えだとは思いますが、敬老という言葉にはご高齢の方を敬うという意味がありますから、その言葉そのものをなくすのは難しいと思います。しかし、敬老という言葉の意味が薄れないように、子どもたちに教育していくことが大事だと思います。

参加者 災害時の避難場所において、各人の役割が分かるビブスを着用するのはいかかでしょうか。

市長 今年から各避難所に、市の指定職員4名、学校の先生3名、拠点協力員となっている自治組織の方3名の計10名分のビブスを配布することに決定いたしました。